

大洗 議会だより

目次

9月議会定例会	2
総務常任委員会	4
質疑報告	9
町政を問う 2人登壇	12
特別委員会 審査報告	13
総務常任委員会 視察報告	
岡山県 奈義町・吉備中央町	



No.206
2023.10.25

茨城県消防ポンプ操法競技大会 県央地区大会
(出場した第3分団の健闘のようす)

9月議会定例会

9月議会定例会は、9月1日から12日の12日間の会期で開催し、議案等については原案のとおり可決・同意しました。

審議した議案と各議員の賛否

議案番号等	議案名等	賛否数		議 員 名													
		賛成	反対	飯田 英樹	柴田 佑美子	櫻井 重明	伊藤 豊	石山 淳	小沼 正男	今村 和章	和田 淳也	海老沢 功泰	勝村 勝一	坂本 純治	菊地 昇悦		
議案第43号	令和4年度大洗町一般会計歳入歳出決算	10	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第44号	令和4年度大洗町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	10	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第45号	令和4年度大洗町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	10	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第46号	令和4年度大洗町介護保険特別会計歳入歳出決算	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和4年度大洗町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和4年度大洗町地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和4年度大洗町営公園墓地事業特別会計歳入歳出決算	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和4年度東茨城郡内町村及び一部事務組合公平委員会特別会計歳入歳出決算	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和4年度大洗町水道事業会計歳入歳出決算	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	大洗町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	大洗町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	大洗町民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	大洗町火災予防条例の一部を改正する条例	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	令和5年度大洗町一般会計補正予算(第3号)	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和5年度大洗町介護保険特別会計補正予算(第1号)	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第1号	大洗町教育委員会委員の任命について	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	東茨城郡内町村及び一部事務組合公平委員会委員の選任について	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は欠席 ※議長は賛否同数時のみ加わります。

人事案件

▽大洗町教育委員会委員の任命について

氏名 小野瀬 繁子（63歳）
住所 大洗町大貫町
任期 令和5年10月1日～
令和9年9月30日

▽東茨城郡内町村及び一部事務組合公平委員会委員の選任について

氏名 今関 裕夫（67歳）
住所 水戸市東赤塚
任期 令和5年10月1日～
令和9年9月30日

報告

▽令和4年度大洗町財政健全化判断比率について

▽令和4年度大洗町公営企業会計資金不足比率について

▽大洗ターミナル株式会社の令和4年度事業報告並びに令和5年度事業計画について

企業版ふるさと納税に係る寄附

寄附者 水戸市泉町

株式会社 柴建築設計事務所
代表取締役 柴 恭

寄附金 30万円

寄附目的 第2期海の街大洗創生推進プロジェクトの一助として

寄附者 埼玉県川口市

株式会社 A・スタイル
代表取締役 遠藤 博

寄附金 3,000万円

寄附目的 第2期海の街大洗創生推進プロジェクトの一助として



請願

件名	請願者	紹介議員	審査委員会	結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	茨城県教職員組合 中山 幸男	勝村 勝一	総務常任委員会	継続審査

本定例会のようすをインターネットで録画配信を行っています。





9/4~7

総務常任委員 ○は委員長 ○は副委員長

- ◎伊藤 豊
勝村 勝一
- 櫻井 重明
海老沢功泰
- 飯田 英樹
和田 淳也
- 柴田佑美子
今村 和章
- 菊地 昇悦
小沼 正男
- 坂本 純治
石山 淳

主な質疑内容

まちづくり推進課

問 地域公共交通維持活性化事業について、具体的にどのような事業を実施しているのか。

答 令和3年度に利用者代表、学識経験者、交通事業者、行政機関等で構成する大洗町地域公共交通会議を設置し、令和4年度は人口データの整理や公共交通の利用状況等の基礎調査を実施しました。現在、町民や観光客を対象にアンケートを実施しており、その結果も反映させ、大洗町地域公共交通計画の策定を目指します。

問 定住促進事業の奨励金について、賃貸への支援は検討しているか。

答 新しく住宅を建てる方、あるいは中古住宅を購入し

て住まわれる方など、長く大洗町に住んでいただけの方を支援するための事業であることから、賃貸への支援は検討していません。

税務課

問 令和4年度の*茨城租税債権管理機構への移管状況は。

答 ※県内市町村を構成団体とする市町村税徴収のための一部事務組合で、市町村からの依頼を受け、滞納処分に伴う徴収業務を行います。

答 移管した件数は8件で金額は約780万円です。その中で徴収した金額は約420万円となっています。

総務課

問 町有地維持管理の状況は。

答 樹木剪定業務として、主に役場庁舎周辺や住宅地に

隣接している町有地において定期的に草刈り業務を実施しました。また、伐採業務としては、主に倒木の撤去など突発的な対応をしました。

健康増進課

問 風疹抗体検査の実績は。

答 令和4年度は45〜61歳の男性を対象に、医療機関や町・職域で実施される健康診断の血液検査と一緒に受けられる体制となっており、受診者は82名、そのうち抗体価が低く予防接種を受けた方は9名となっています。抗体価が低い方は、ほぼ予防接種を受けている状況です。

問 歯周病検診の実績は。

答 令和4年度は854名が対象で受診者は39名、受診率は4.5%でした。受診された方のうち約9割が歯周ポケット

4mm以上の所見がみられ要精密検査の判定となっており、歯科医院で指導や治療を受けられました。この結果を踏まえ、より多くの方に受けていただけるように受診勧奨に努めていきます。

福祉課

問 町の介護保険サービス給付費の現状は。

答 介護保険サービス給付費の変化については、コロナ禍の3カ年における全体の給付費で見ると、平均して毎年2,000万円の減となっています。コロナ禍以前は施設入所の需要が高い傾向でしたが、コロナ禍を経て、施設入所よりも居宅介護サービスの需要が高まっている傾向にあります。介護度が高くても、自宅で生活したい、生活させたい家庭が増加した結果の表れと考えます。

問 長寿祝事業の内容は。

答 喜寿、米寿、白寿、100歳となられた方、101歳以上の方に対して条例に基づき祝金を給付します。ほか、75歳以上の方全員に町内の商店街で利用できる商品券1,000円分とゆつくり健康館の温泉利用券2回分を配布しています。また、「健康福祉・長寿まつり」の際に米寿、白寿、100歳になられた方には町からの褒状をお渡ししています。



左2人目から) 令和5年度 百歳以上代表の一ノ瀬百合子さん、百寿代表の藤沼しんさん、米寿代表の堀江健介さん

住民課

問 各種証明書のコンビニ交付件数は。

答 令和4年度のコンビニ及び夏海郵便局の交付件数は856件です。内訳は住民票445件、印鑑証明371件、所得証明19件、課税証明21件となっています。

問 高齢者保健事業・介護予防一体的実施事業について、ハイリスクアプローチ、ピュレーションアプローチとはどのようなものか。

答 高齢者の健康課題を分析・把握することで、健康寿命の延伸を図るための事業です。ハイリスクアプローチは、生活習慣病重症化予防としてシルバー健診で血圧や脂質などの値が高かった方に対し、個別に保健指導を実施し、ピュレーションアプローチは、高齢者サ

ロンにおいてフレイル(虚弱)予防のための健康講話を実施するなどの事業を行いました。

秘書広報課

問 デジタルサイネージ運用における収入実績は。

答 令和4年度の広告掲載事業者は町内事業者16件・町外事業者9件、収入としては約300万円でした。



デジタルサイネージ

農林水産課

問 町の新規就農の相談状況と支援体制について。

答 令和4年度については新規就農相談に来た1名が就農しました。町独自の支援として認定新規就農者となった方を対象に、機械購入等に対して「大洗町明日を担う農業者経営支援事業補助金」を設けています。また、茨城県や関係機関と連携し、個別就農相談会等の開催、国及び県の補助支援制度や金融機関等の融資制度の案内、営農計画への助言等を行っています。

問 夏海地区基盤整備に向けた取り組みの進捗状況は。

答 令和5年1月、水戸農協中心に本事業推進協議会準備会が設立されました。現在は、調査同意に向けた台帳整備等を行っています。今後は、準備会を中

心に推進協議会を設立し、本事業の調査同意を取得していく計画となっています。

学校教育課

問 英語検定料補助金の活用状況は。

答 令和4年度は121件の申請があり、令和3年度と比べて131%の利用者増でした。町の子どもたちの英語教育の充実のため、今後も継続していきます。



生涯学習課

問 自主文化事業の宝くじ文化講演コンサートについて、事業を実施した理由とその効果は。

答 宝くじ助成金を活用し、2市町村が連日開催することで経費がかからず、町民に本格的なコンサートを安価に提供できます。令和4年度は1回実施し、来場者が670名と、多くの方にお越しいただきました。



宝くじ文化講演コンサート

問 図書室の運営について、県立図書館等との連携は行っているか。

答 県立図書館と連携し、「ぶっくびん」の利用により県立図書館の蔵書を図書室で受け取ることができるほか、県内自治体の図書館の蔵書も県立図書館を経由して借りることができ、相互貸借の制度があり、町民も利用しています。



中央公民館 図書室

いごも課

問 今後、少子化が進む中、保育園の経営が圧迫されると予測されるが、町はどのような対応を検討しているか。

答 保育のニーズについては、女性の社会進出に伴い、子どもを保育園に預けて仕事と両立している方が増加しています。現在、各保育園の入園率は定数に対して上限に近い状況です。年齢によっては受け入れが難しい場合もあるため、民間保育園や公立保育所の中で調整を行い、待機児童が出ないよう対応しています。

問 児童遊具の撤去について。

答 こども課の所管は児童遊園となり、現在、町内4カ所あります。安全基準が厳しくなり、遊具の老朽化も安全上懸念されているため、利用状況を



児童遊具

見ながら順次撤去しているところです。今後、都市建設課が所管の児童公園を含め、利用実態や長期的な利用に向けてどの程度改修が必要となるのかを把握しつつ、ある程度数を絞って活用していく必要があると考えます。

生活環境課

問 津波監視カメラシステムについて。

答 津波監視カメラは、南中学校と第一保育所に設置しており、その映像が生活環境課と消防本部で24時間確認できる仕様となっています。津波発生時に役場庁舎内で状況把握を行うほか、サンビーチで遊泳者が溺れた状況を確認するなど普段から活用しています。

問 消費生活センターにおける相談件数と相談内容は。

答 令和4年度の相談件数は約60件です。購入していない商品が届いた、頼んだものと違う商品が届いた等の相談が多く、ほかに、リフォームした際に請求金額が高い、還付金詐欺に関する相談もありました。

消防本部

問 分団員の人員確保について。

答 分団員数は全国的にみても減少しているため全国的な課題だと認識しており、町分団員数も年々減少している状況です。現在活動している分団員の方にはできるだけ長く活動していただけるように、報酬の引き上げ等の処遇改善を行っています。また、現在、機能別消防団員について研究をしているところです。



総務省 消防庁チラシ

商工観光課

問 空き店舗等活用支援事業の内容と利用実績は。

答 町内の空き店舗の利活用について、対象を町民に限定せず幅広い視野の中で空き店舗の解決を図り、商店街の賑わい創出を目的としています。令和4年度の新規利用件数は2件です。

問 サンビーチ駐車場の有料期間が増えたことについて、利用者からの意見は。

答 令和4年度よりゴールデンウィーク及び海水浴場開設期間に加え、3～10月の土日祝日を新たな有料期間と設定しましたが、利用者からの苦情等も少なく概ねご理解をいただけていると認識しています。また、サーフィン客等の駐車場使用頻度が高い利用者に向けては、ふるさと納税返礼品としてシーズ

ンパスを発行し、令和5年度の発行枚数は250枚を超え、合計で1,000万円を超える寄附額となっています。



サンビーチ駐車場

都市建設課

問

ようこそ通りの拡幅工事において、T A I R A Y A 前の未整備区間用地取得の進捗状況は。

答 令和4年度は土地購入が9件、移転補償が12件となつていきます。今後も交渉を継続していきます。



ようこそ通り

問

トヨペットエンジョイパーク大洗(町総合運動公園)野球場改修工事の内容は。

答 スコアボード1基、フェールポール2基、ラバーフェン

ス、マット付門扉、両開きフェンスの改修となります。



野球場ラバーフェンス

上下水道課

問

現在の石綿管の更新状況は。

答 配水管の全延長距離である約131.2kmのうち、石綿管の残存距離は約24.7kmで全体の20%以下となっています。

2人の議員が登壇して発言

平和行政の取組み

きくち しょうえつ
菊地 昇悦
10 ページ

観光・イベントの町 大洗

かつむら かついち
勝村 勝一
11 ページ

町政を問う

ズバリ!



「町政を問う」紙面は、質問した議員が作成しています。

平和行政の取組み



きくち しょうえつ 議員
菊地 昇悦



議会映像➡

はじめに 8月は広島、長崎への原爆投下、15日は終戦の日であり、戦争と平和を考える貴重な月である。

問 町は、広島市の平和式典に中学生を平和大使として派遣しているが、平和教育をどのような観点の位置づけとしているか。また、参加した生徒の感想について伺う。

教育次長兼学校教育課長

答 町の中学生9名を戦争の被爆地である広島に派遣し、現地で直接、体験や見学を行うことで、戦争の悲惨さを後世に伝える意義と平和を尊ぶ思いを確かめることや現在もロシアのウクライナ侵攻が行われている中、国際社会における協調的態度や戦争や核兵器のない未来を築いていこうとする心を育むことを目的として行っています。

参加した生徒9名の感想は、「原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の尊さを学びました。」と述べていました。生徒の言葉をそのまま紹介しますと、「被爆者が書いた詩を聞いたり、平和記念資料館で写真や遺品を実際に自分の目で見たりしてとても驚き、言葉を失いました。実際に行ってみないと分からないことを知ることができました。」平和記念式典が始ま

ると、言葉では言い表せない独特な雰囲気になり、たくさんの人々と共に祈りを捧げました。」

そして、9人が共通して「広島に行って学んで終わりではなく、そこで感じたことを、学校みんなや地域の人々にしっかりと伝えていきたい。」と述べていました。

問 今年の「原爆写真展」に、町民の方から戦争遺品の展示の申し出があった。世代交代の中で保存することが困難になっていることから、町で収集を呼びかけ保存し、町民の平和教育に活かすことが大切ではないかと考えるが、町の考えは。

福祉課長

答 戦没者やその遺族への援護（遺骨収集、慰霊巡拝など）については、国の責務として「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」に明記され、計画に基づき実施されているが、既に遺族が所有する戦争遺品の収集・保管に係る法令はなく、あくまでも、ご遺族個人の所有物となるので、取扱いについては個人の判断に委ねられるものと考えます。平和教育の資料として、戦争時の歴史的遺物としての価値を根拠に収集するならば、然るべき機関が設備の整った施設で保存すべきかと考えます。

問 令和5年第1回議会定例会においても同様の質問を行ったが、改めて伺う。自衛官募集事務について、今日、個人情報情報を慎重に取り扱う必要があるとされる中、令和5年度に町は何名分の名簿を自衛隊へ提供したか。

総務課長

答 18歳が113人分、22歳が149人分、合計で262名分の情報を提出しています。

問 自衛隊に自己の個人情報の提供を望まない方への配慮として、除外制度の導入について、町の考えは。

総務課長

答 本事業につきましては、令和5年第1回議会定例会において関係法令に基づき行われている旨、説明させていただきました。

除外制度の導入については、法的根拠のない取り組みとなります。しかし、今般県内においてもいくつかの自治体で配慮として取り組んでいることを確認しています。依頼元である自衛隊との協議、法務確認（リーガルチェック）を経て、導入可能と判断できれば令和6年度から導入いたします。

問 私は、本人の同意を得て情報提供すべきであると考えます。対象者への周知方法として広報紙やホームページでは目に留まらないこともあることから、本人宛に通知し、確認することを求めるが、町の考えは。

総務課長

答 法令に基づく関係機関への情報提供に関する制度全般の観点からすると、この事案についてはのみ特化した措置を講ずることは、今後、他の事案に係る法令の運用について支障をきたしかねないことに留意する必要があります。将来的に町が直接、資料の送付を行うこととすれば、情報を出すこともなくなりますので、除外制度の運用と併せて、検討していきます。

その他の質問

- ・ 公共施設の管理について
- ・ 東京電力 福島原発に係る問題

観光・イベントの町 大洗



かつむら かついち 議員
勝村 勝一



議会映像→

はじめに

全国的に少子高齢化・人口減少が進むなか、県内随一の観光地として多くの観光資源をさらに活用し、人を呼び込む施策を充実させていくことが重要と感じている。「観光イベントの町・大洗」として、町を活性化させ持続可能なまちづくりを推進する取り組みについて伺う。

問

2024年3月に電気自動車のレーシングカーによるカーレースが東京都で開催される。安全面などの課題もあると思うが、大洗町に誘致してはどうか、考えを伺う。

商工観光課長

答

2024年3月に東京都で開催予定のフォーミュラE世界選手権とは、国際自動車連盟主催のEV(電気自動車)レーシングカーによる世界的なモータースポーツで、世界各地の大都市や有名リゾート地で開催されています。日本では初めての開催になる今回の東京大会については、二酸化炭素を排出しない先進の環境都市「ゼロエミッション東京」の取り組みの一つ

として東京都が招致したとのことです。フォーミュラE世界選手権クラスの世界規模の大会となると、クリアしなければならぬハードルは高く、町単位での取り組みでは相当難しいと想定されますが、現状では、開催までのプロセスや必要な規格など、知識や情報が何もない状況です。

問

海上花火大会やエアショーなど広大なサンビーチを活かした新たな取り組みを重ねており評価も高いが、持続可能なイベント開催のためには有料化するなど収益化を図ることも必要ではないか。

商工観光課長

答

町の重要な観光資源であるサンビーチにおいては、海水浴場事業や花火大会をはじめとするイベント等、様々な取り組みを行っているところであります。持続可能な運営を行うための財源確保策については、サンビーチ駐車場の有料期間を令和4年度から拡大いたしました。これにより1億円を超える収入があり駐車場事業費と海水浴場事業費に充てることができました。また、花火大会については、入場チケットをふるさと納税の返礼品としたところ、2千2百万円ほどの寄付がありました。

問

民間事業者等と連携し毎月イベントを開催することで、観光客に「大洗はいつも何かやっている」とイメージされ、来遊促進につながると思うが。

商工観光課長

答

年間を通したイベント開催により、常に新しい魅力にあふれる大洗町を推進していきたいと思っています。それには、民間の事業者などの活力が必要であり、町の観光振興や地域活性化に寄与するようなイベントであれば、民間が主体になりどんどん行っていただきたい、ただしそれは、町が財政負担するようなものではなく、基本的には自己完結において行っていただき、それに対して町が協力する形であることが大事だと考えます。

問

地域の強みである観光を切り口に、地域に関わる人々である「大洗ファン」を呼び込むことで持続可能なまちづくりに繋がると思うが。

まちづくり推進課長

答

人口減少が進むなかで持続可能には、地域に関わり、地域を応援する関係人口である「大洗ファン」を増やしていくことは重要であると考えます。その方策のひとつとして、ふるさと納税の枠組みを活用し、大洗海上花火大会のように、寄附者が直接大洗町に足を運んでいただく「コト消費」を拡大していくことは、寄附者と地域の持続的な関係性を築き、ひいては大洗ファンの拡大に繋がる手段であるといえます。

ふるさと納税に限らず、町固有の魅力、資源等をしっかりPRし、幅広い世代に関心を持っていただき、大洗町を応援していただけるよう取り組んでいきます。

特別委員会 審査報告

9月議会定例会において、以下の2つの特別委員会の審査報告をしました。

- 「ゆっくら健康館」運営調査特別委員会（任期：令和2年12月～議員任期）
- 原子力安全調査特別委員会（任期：令和2年12月～議員任期）

「ゆっくら健康館」運営調査特別委員会

委員長 坂本 純治

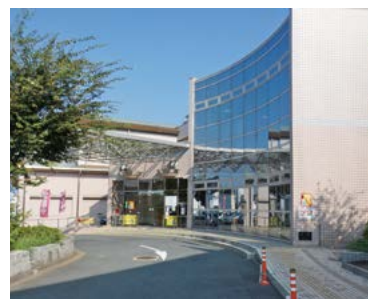
開催した委員会での調査、審議内容については、各年度の決算、予算の調査では、これまでの入館者の推移や温泉やジム等の施設ごとの収支だけでなく従業員の勤務状況にまでも委員から意見も有り調査をしました。また、現状の運営についての問題点の指摘もありました。

これらの調査結果を踏まえ、各委員からゆっくら館の今後の在り方についての意見を取りまとめました。集約した意見の中で、特に注目すべき内容は、今後の在り方については、「ゆっくら館は廃止に向けて検討すべき」と意見が多く示されていることです。

また、ゆっくら館内のプールに関する意見につきましては、様々な意見が上がりましたが、重ねてきた委員会においても、町の児童、生徒のプール授業の場となっていることから慎重に検討しなければならない事項となっています。

あわせて、施設運営にかかる費用については、町の財政状況を鑑みても、これまでにない新たな対策（施設の一部使用、廃止、売却等）の検討を期待する意見もありました。

本委員会として、財政面と経営面等を総合的に勘案すると「廃止に向けて検討を進めるべき」との報告に至りますが、今後、町がゆっくら館の運営、在り方について検討を進める際には、今回の報告内容を十分考慮することを求めるのとあわせ、結論に至る前に、その経緯や理由等を、その都度議会に対し説明や意見を求めることを強く要望します。



ゆっくら館の将来を見据え、多角的に調査を行いました

原子力安全調査特別委員会

委員長 和田 淳也

委員会の活動の中で、現地調査につきましては、町内の研究機関である、日本原子力機構 大洗研究所をはじめ、建設中の大間発電所から、新規制基準の下で再稼働した最初の発電所である川内原子力発電所まで、幅広く、多くの原子力関連施設を調査してきました。

さらには、原子力の必要性、重要性とあわせ、原子力に関する課題や問題について調査してきました。原子力は、カーボンニュートラル実現に向けて確立した脱炭素技術であり、長期的なエネルギーであるといえます。また、近年の燃油や電気料金の高騰、エネルギー需要量の増加等を考慮すると、ますますその必要性が高まっています。

大洗町は、国内有数の原子力研究開発拠点として、これまでも原子力開発に大きく貢献してきており、ここでの様々な研究や取り組みは、今後の我が国の原子力研究開発を力強く推進する大きな原動力となっています。特に、高温工学試験研究炉「HTTR」や高速実験炉「常陽」については、原子力の安全向上のみならず、非エネルギー分野など幅広い分野での活用が期待されます。

今後も我が国の原子力研究開発を力強く推進していくためにも、大洗町議会は、町の原子力に関する取り組みに対し、同調・後押ししていくべきと考えます。

また、これまで町民の深い理解と協力により、原子力研究開発の推進が図られてきたことを踏まえて、町の原子力行政については、今後も町民に対して真摯な姿勢で取り組むべきであります。加えて、事故や大規模な自然災害による原子力災害 発生時だけでなく、常に町民の安全、安心が担保されるよう様々な準備を確実に整えるべきであります。

町の原子力に関する政策は、町の発展に大きく影響することからも、これまで同様に議会に対し定期的に説明を行い、特に重要な事項については意見や同意を求めることを要望します。



日本原子力機構 大洗研究所の現地調査のようす

※なお、各審査報告書につきましては、大洗町議会HPをご覧ください。

総務常任委員会 視察報告

報告者

8月1日(火)～2日(水)の2日

間で岡山県奈義町・吉備中央町の取組みについて視察研修を行いました。

1日目、「子育て応援宣言のまち」奈義町を視察。

奈義町は平成12年に住民投票などを踏まえ合併をしない町を宣言し、町独自の政策を子どもたちのため、子育て世代に重点を置いて、令和元年には合計特殊出生率2・95と全国平均の2倍を超える出生率を達成。これには岸田総理や小倉こども政策担当大臣なども視察に訪れたことのある、今では日本有数の注目の

委員長 伊藤 豊

町です。

子育て世代が気軽に通える「子育てアドバイザー」が常駐する「なぎチャイルドホーム」は、ちょっとした子ども預けたいときの一時



奈義町役場にて



奈義町役場 視察研修の様子





なぎチャイルドホーム

保育「すまいる」や親同士で協力する保育活動「自主保育たけの子」など子育ての相談がしたい、地域の方と交流がしたい、

子ども同士で遊ばせたいなど、ふらっと立ち寄れる心地よい施設です。

また、しごとコンビニ事業では、旧シルバー人材センターの方たちも巻き込み、行政施設での封入作業や清掃業務、個人宅の草刈りや農作業の収穫作業、企業からは梱包作業や施設管理業務など幅広い仕事を自分の時間に合わせて仕事ができる仕組みづくりがありました。

その他にも、定住促進住宅や紹介報奨制度がある分譲地の整備など行政主導で移住定住政策を積極的に展開していました。

2日目、国家戦略であるデジタル田園健康特区に認定された吉備中央町を視察。

岡山県のほぼ中央に位置する山間部にある吉備中央町はコメの生産とピオーネなどの果樹が名産の町でした。

デジタル田園健康特区に認定され、国の補助を最大限活用して、健康・医療などの情報データの蓄積や、アプリを活用した孤立・孤独防止サービスの実施。「きびコンシェルジュなんでもサポーターズ」事業での地



吉備中央町役場 視察研修の様子

域全体での見守り活動の他にも、運転免許証返納者などの交通弱者対策では、デマンド型乗合タクシーの整備や町内を八の字に回る町内巡回バスの運行など「誰一人取り残さないエンゲージメントコミュニティの創生」について大変勉強になった研修となりました。



吉備中央町議場にて

行政視察の 受入れ状況

全国各地より
大洗町へ
お越しただいて
います。



埼玉県 入間市議会 福祉教育常任委員会 (7人)

人口：145,081人
(令和5年9月1日現在)
面積：44.69km²
訪問日：令和5年7月6日(木)
視察の目的：教科センター方式の中学校について

青森県 八戸市議会 副議長 (1人)

人口：218,938人
(令和5年8月末現在)
面積：305.56km²
訪問日：令和5年8月8日(火)
視察の目的：大洗町観光振興計画について

長野県 小諸市議会 総務文教委員会 (6人)

人口：41,588人(令和5年9月1日現在)
面積：98.55km²
訪問日：令和5年7月14日(金)
視察の目的：防災行政無線について
東日本大震災後の復興状況について
対応者：柴田副議長



静岡県 函南町議会 総務建設委員会 (8人)

人口：36,730人(令和5年8月末現在)
面積：65.16km²
訪問日：令和5年7月26日(水)
視察の目的：ふるさと納税の取組みについて
対応者：飯田議長



令和5年 第4回議会定例会のお知らせ

令和5年12月1日(金)開会を予定しております。

◆会期日程・審議内容等、詳細につきましては、週報、ホームページ等にて改めてご案内いたします。

議会日誌

7月	6日	埼玉県入間市議会視察来町
	14日	長野県小諸市議会視察来町
	26日	静岡県函南町議会視察来町
8月	1日～2日	総務常任委員会視察研修(岡山県)
	8日	青森県八戸市議会視察来町
	21日	議会運営委員会
	24日	議会全員協議会
9月	1日～12日	原子力安全調査特別委員会
	1日	第3回議会定例会
	1日	総務常任委員会
	4日～7日	ゆつくら健康館運営調査特別委員会
	7日	総務常任委員会
	7日	原子力安全調査特別委員会
	12日	議会運営委員会
	12日	議会広報編集委員会

おおあらいまち

「こどここ??クイズ」

問題

幕末期、水戸藩の尊王攘夷派であった天狗党が攘夷(外国勢力との戦い)を強行しようとして起こした反乱「天狗党の乱」。この天狗党の慰霊碑はどこにあるでしょうか?
①から③の中から選んでね。



- ① 護国寺
- ② 町営墓地
- ③ 花池墓地

応募方法

- 1 はがき又はEメール
答えと住所、氏名、年齢、電話番号、本紙へのご意見や感想等ありましたら、あわせてお寄せください。
- 2 宛先
はがきの場合
〒311-1392
大洗町磯浜町6881-275
大洗町議会 議会だより広報委員会
- 3 Eメールの場合
件名を「「こどここクイズ」206号」にして
gikai@town.oarai.lg.jp まで送信してください。

答え／●番	住所／
	大洗町1234-5
氏名／大洗 太郎	
年齢／20歳	
電話番号／	
012-345-6789	
ご意見・ご感想／	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

編集後記

9月議会が終わわり、今任期中の議会だよりの発行は最後となりました。令和4年には、町村議会広報全国コンクールにおいて「編集・デザイン部門」の奨励賞をいただくことができ、委員4名にとって大きな自信となりました。その後も、さらに読みやすく興味の湧く広報紙づくりを、との思いで委員一丸となり取り組んで参りました。この4年間、議会だよりに携わって下さった町民の皆さまをはじめ、お読みいただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。

今定例会中の総務常任委員会付託の令和4年度決算審議では、各委員が活発な意見を出し合い、決算に対する質疑やこれからの町政や町の現状を踏まえた質問を執行部に対して行いました。現実の課題を克服していくために、さらに町が良くなっていくために、議会が町に対して求めていく必要性を各議員が感じながらの決算委審議となりました。

町民の皆さまには、この広報紙や公開されている議会・委員会の傍聴をご利用いただき、今後も町の動きや議会の審議内容に関心を持ち続けていただければとありがたいです。次号からは新体制での議会だよりの発行になります。

これからも、議会だよりを楽しみにお待ちください。
櫻井 重明

議会広報編集委員会

- 委員長 櫻井 重明
- 副委員長 石山 淳
- 委員 柴田佑美子
- 委員 今村 和章

【お詫び】

前号(No.205)P.12の編集後記において、筆者の「今村和章」の氏名が記載されておりませんでした。謹んでお詫び申し上げます。

大洗町議会ホームページ

議会の会期日程等のお知らせや議会活動のほか、議会のしくみなどについて掲載していますので、ぜひご覧ください。

大洗町議会

検索